


EDIUS

ハードウェア設定ガイド



F095606064

ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) カノープス、CANOPUS / カノープス、DVStorm、EDIUS / エディウス、ProCoder およびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
- (8) HDV はソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- (9) Intel、Pentium、Xeon は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- (10)  Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- (11) その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

表記について

- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本文中の内容や画面は、EDIUS Pro version 4 を元に説明しています。
- 本書で使用している画像は開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行なうことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同様に行なってください。
- 本書では、EDIUS Pro version 4 や EDIUS シリーズを「EDIUS」と表記します。

警告

健康上の注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光や刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質ももっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像／音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画にかかわらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は一切負いかねますのでご注意ください。

EDIUS

ハードウェア設定ガイド

June 7, 2006

Copyright © 2006 Canopus Co., Ltd.

All rights reserved.

本書について

本書は、DVStorm-RT（DVStorm2/DVStorm3 を含みます）、DVStorm XA をお使いの場合のハードウェア設定について記載しています。EDIUS のハードウェア設定は、装着している機器により設定できる項目が異なりますので、お使いの機器をお確かめの上、本書にしたがって設定してください。DVStorm-RT、DVStorm XA を装着している場合は、プロジェクト設定の出力デバイス、入力設定の入力デバイスに表示され、デバイスを選ぶことができます。

プロジェクト設定（DVStorm-RT 装着時）



入力設定（DVStorm-RT 装着時）

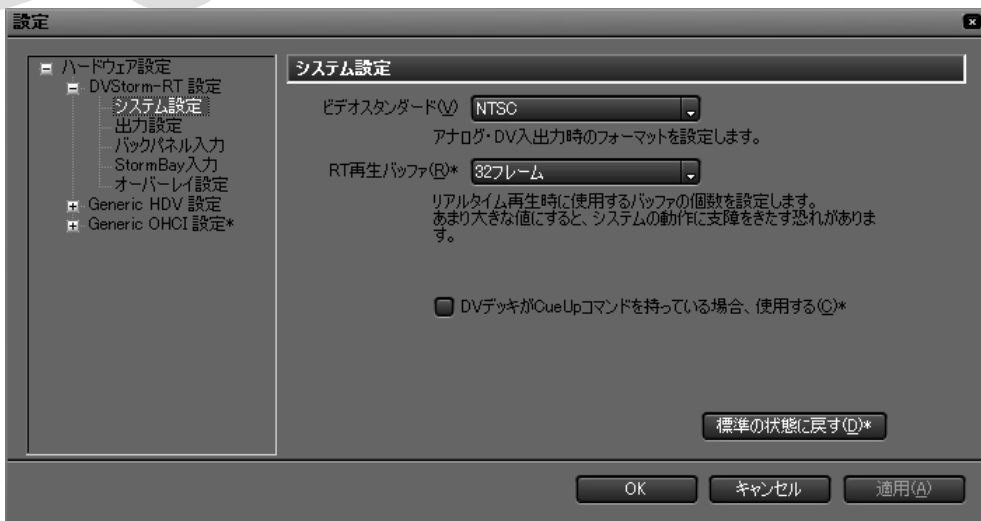


DVStorm-RT 設定	2
DVStorm XA 設定	7
OHCI と DVStorm-RT/DVStorm XA を併用されているお客様へ	10

1 DVStorm-RT 設定

〈StormBay 入力〉ダイアログは、オプションの StormBay 装着時のみ表示されます。

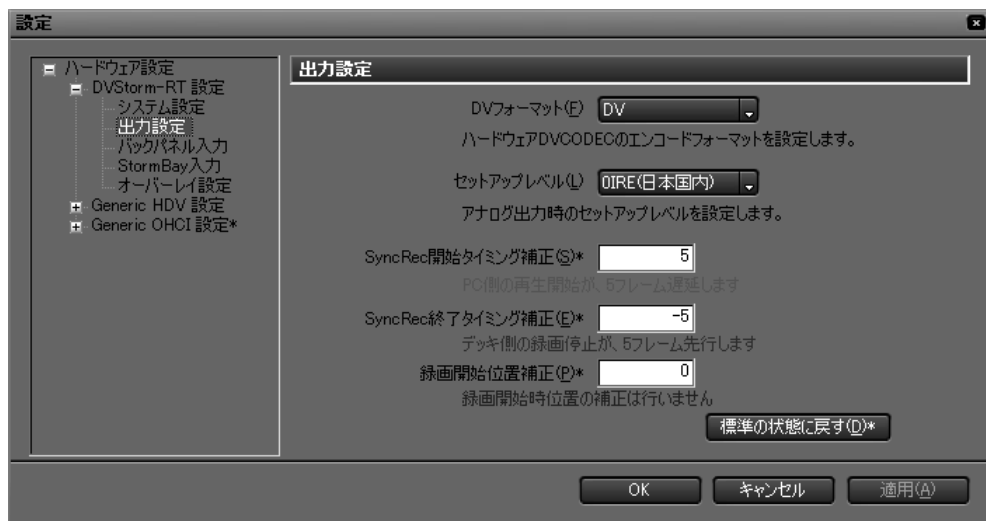
システム設定



ビデオスタンダード	ビデオ信号のテレビ方式を選びます。 NTSC 日本で一般的に使われるテレビ方式です。これを選択すると、出力設定でセットアップレベルを設定することができます。 PAL ヨーロッパや、中国で採用されているテレビ方式です。
RT 再生バッファ	リアルタイム再生時に使用するバッファのフレーム数を選びます。フレーム数を多くするとリアルタイム再生がしやすくなりますが、その分メモリを消費します。なお、制限ユーザーでは、RT 再生バッファのサイズ変更を行うことはできません。
DV デッキが CueUP コマンドを持っている場合、使用する	チェックを入れると、DV デッキの CueUP 機能を使用します。
標準の状態に戻す	クリックすると、*の付いている設定が初期設定に戻ります。

ご注意 ビデオスタンダードまたは RT 再生バッファの設定を変更したときは、必ず EDIUS を終了してパソコンを再起動してください。

出力設定



DV フォーマット	ハードウェア DVCODEC のエンコードフォーマットを選びます。タイムコードの出力を行う場合は、DVCAM に設定する必要があります。
セットアップレベル	<p>アナログ出力時のセットアップレベルを選びます。セットアップレベルとは、テレビの映像信号方式において、黒の基準となる信号レベルです。システム設定のビデオスタンダードで NTSC を選んだときに設定できます。</p> <p>OIRE (日本国内) 日本で採用されている NTSC の信号レベルです。通常はこちらを選びます。</p> <p>7.5IRE 北米などで使用されている NTSC の信号レベルです。海外の映像機器と組み合わせるときなどはこちらを選びます。</p>
SyncRec 開始タイミング補正	DV デッキの録画開始をパソコン側の再生開始からどの程度遅らすかを、フレーム数で設定します。初期設定は「5」です。これはデッキの録画開始が、パソコン側の再生開始より 5 フレーム分遅れる設定です。
SyncRec 終了タイミング補正	DV デッキ側の録画停止をパソコン側の再生終了からどの程度遅らすかを、フレーム数で設定します。初期設定は「-5」です。これはデッキの録画停止が、パソコン側の再生終了より 5 フレーム分先行する設定です。
録画開始位置補正	DV 機器によっては、SyncRec 時にポーズしたフレームよりも前の数フレームを上書きして録画を開始してしまうことがあります。このような場合は、録画開始の位置をステップ数で設定して補正します。「0」に設定した場合は補正されません。
標準の状態に戻す	クリックすると、*の付いている設定が初期設定に戻ります。

バックパネル入力



入力マッピング	DVStorm-RT ボードの入力端子に入力するビデオ信号を選びます。
明るさ コントラスト 色合い 色の濃さ シャープネス	選んだビデオ信号のパラメータを設定します。スライダーをドラッグして設定するか、テキストボックスに数値を入力します。
セットアップレベル	<p>アナログ入力時のセットアップレベルを選びます。セットアップレベルとは、テレビの映像信号方式において、黒の基準となる信号レベルです。システム設定のビデオスタンダードでNTSCを選んだときに設定できます。</p> <p>OIRE (日本国内) 日本で採用されている NTSC の信号レベルです。通常はこちらを選びます。</p> <p>7.5IRE 北米などで使用されている NTSC の信号レベルです。海外の映像機器と組み合わせるときなどはこちらを選びます。</p>
標準の状態に戻す	クリックすると、*の付いている設定が初期設定に戻ります。

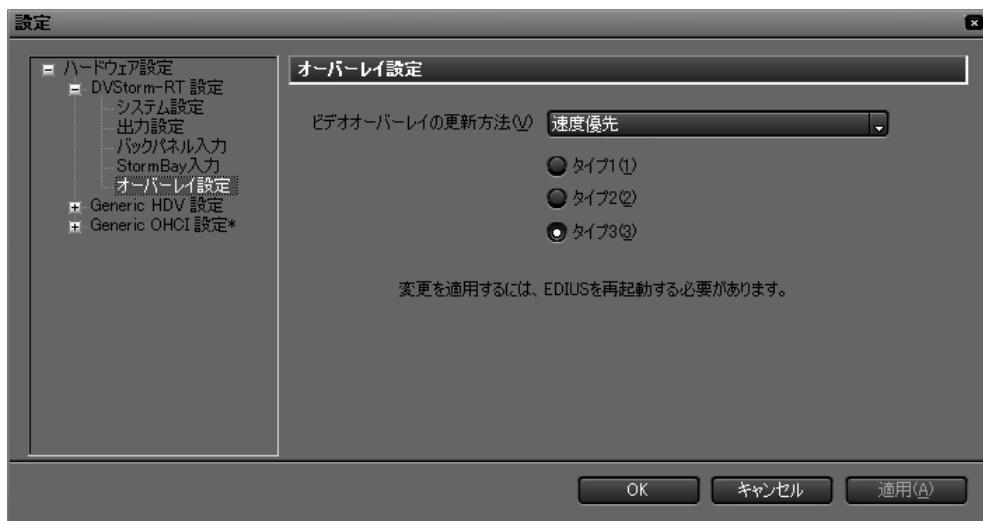
StormBay 入力

〈StormBay 入力〉ダイアログは、オプションの StormBay 装着時のみ表示されます。



入力マッピング	StormBay の入力端子に入力するビデオ信号を選びます。
明るさ コントラスト 色合い 色の濃さ シャープネス	選んだビデオ信号のパラメータを設定します。スライダーをドラッグして設定するか、テキストボックスに数値を入力します。
セットアップレベル	<p>アナログ入力時のセットアップレベルを選びます。セットアップレベルとは、テレビの映像信号方式において、黒の基準となる信号レベルです。システム設定のビデオスタンダードで NTSC を選んだときに設定できます。</p> <p>OIRE (日本国内) 日本で採用されている NTSC の信号レベルです。通常はこちらを選びます。</p> <p>7.5IRE 北米などで使用されている NTSC の信号レベルです。海外の映像機器と組み合わせるときなどはこちらを選びます。</p>
標準の状態に戻す	クリックすると、*の付いている設定が初期設定に戻ります。

オーバーレイ設定



オーバーレイの更新方法

オーバーレイの表示が正しく行われない場合に、オーバーレイの表示方法を変更します。

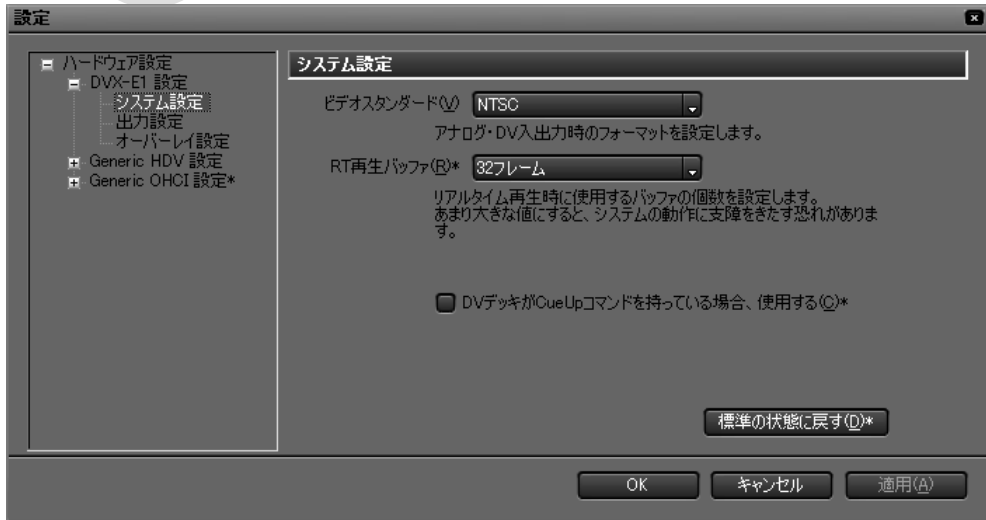
速度優先

システムの負荷が最も低くなります。PC モニタとのタイミングを合わせる事が物理的に不可能なため、ティアリングが発生します。1フィールドごとに画面の更新を行います。〈タイプ3〉で正常に表示されない場合は、〈タイプ2〉、〈タイプ1〉の順にお試してください。〈タイプ3〉が最も高速な表示になります。

2 DVStorm XA 設定

※ EDIUS やデバイスマネージャでは、DVStorm XA は「DVX-E1」と表示されます。

システム設定



ビデオスタンダード	<p>ビデオ信号のテレビ方式を選びます。</p> <p>NTSC 日本で一般的に使われるテレビ方式です。これを選択すると、出力設定でセットアップレベルを設定することができます。</p> <p>PAL ヨーロッパや、中国で採用されているテレビ方式です。</p>
RT 再生バッファ	<p>リアルタイム再生時に使用するバッファのフレーム数を選びます。フレーム数を多くするとリアルタイム再生がしやすくなりますが、その分メモリを消費します。</p>
DV デッキが CueUP コマンドを持っている場合、使用する	<p>チェックを入れると、DV デッキの CueUP 機能を使用します。</p>
標準の状態に戻す	<p>クリックすると、*の付いている設定が初期設定に戻ります。</p>

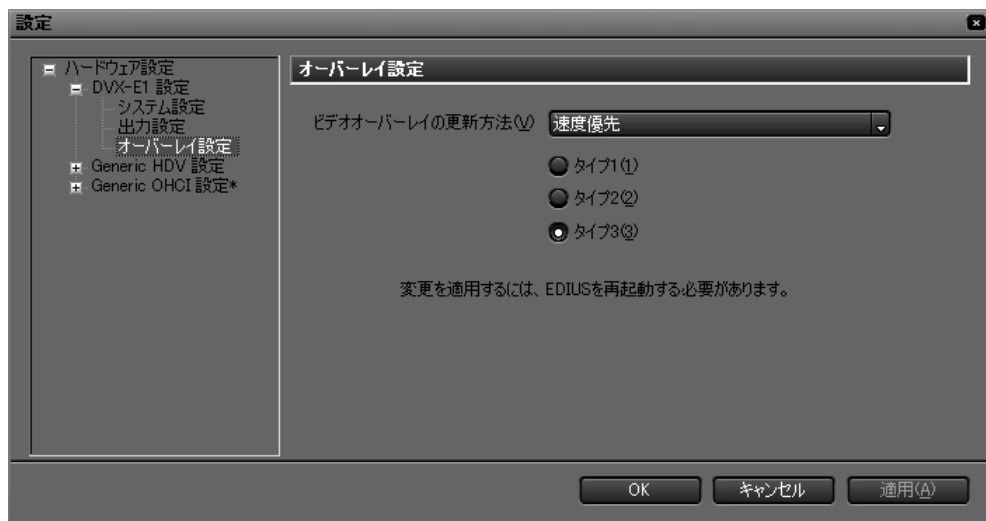
ご注意 ビデオスタンダードまたは RT 再生バッファの設定を変更したときは、必ず EDIUS を終了してパソコンを再起動してください。

出力設定



DV フォーマット	ハードウェア DVCODEC のエンコードフォーマットを選びます。 DVCAM を選ぶと、ビデオとオーディオのずれを抑えることができます。
セットアップレベル	アナログ出力時のセットアップレベルを選びます。セットアップレベルとは、テレビの映像信号方式において、黒の基準となる信号レベルです。システム設定のビデオスタンダードで NTSC を選んだときに設定できます。 OIRE (日本国内) 日本で採用されている NTSC の信号レベルです。通常はこちらを選びます。 7.5IRE 北米などで使用されている NTSC の信号レベルです。海外の映像機器と組み合わせるときなどはこちらを選びます。
SyncRec 開始タイミング補正	DV デッキの録画開始をパソコン側の再生開始からどの程度遅らすかを、フレーム数で設定します。初期設定は「5」です。これはデッキの録画開始が、パソコン側の再生開始より 5 フレーム分遅れる設定です。
SyncRec 終了タイミング補正	DV デッキ側の録画停止をパソコン側の再生終了からどの程度遅らすかを、フレーム数で設定します。初期設定は「-5」です。これはデッキの録画停止が、パソコン側の再生終了より 5 フレーム分先行する設定です。
録画開始位置補正	DV 機器によっては、SyncRec 時にポーズしたフレームよりも前の数フレームを上書きして録画を開始してしまうことがあります。このような場合は、録画開始の位置をステップ数で設定して補正します。「0」に設定した場合は補正されません。
標準の状態に戻す	クリックすると、* の付いている設定が初期設定に戻ります。

オーバーレイ設定



オーバーレイの更新方法

オーバーレイの表示が正しく行われない場合に、オーバーレイの表示方法を変更します。

速度優先

システムの負荷が最も低くなります。PC モニタとのタイミングを合わせる事が物理的に不可能なため、ティアリングが発生します。1フィールドごとに画面の更新を行います。〈タイプ3〉で正常に表示されない場合は、〈タイプ2〉、〈タイプ1〉の順にお試しください。〈タイプ3〉が最も高速な表示になります。

3

OHCI と DVStorm-RT/DVStorm XA を併用されているお客様へ

Intel ICH4/ICH5/ICH6/ICH7 が搭載されているマザーボードを使用したシステムで、OHCI と DVStorm シリーズを併用されている場合、OHCI 端子からの出力が正しく行われず、オーバーレイ画面の映像が表示・更新されないといった現象が発生することがあります。その場合は、設定の変更をお試しください。また、変更を行ったにもかかわらず問題が解消できない場合は、ユーザーサポートまでお問い合わせください。

OHCI 端子からの出力が正しく行われず

- 1 〈スタートメニュー〉をクリックし、〈ファイル名を指定して実行〉をクリックする
- 2 "canopus.ini" と入力し、[OK] をクリックする
メモ帳が起動します。
- 3 以下の内容をファイル末尾に追加し、上書き保存する

DVStorm-RT の場合	DVStorm XA の場合
[DVStorm-RT.stmcore] PCIConfigChange=3	[DVX-E1.dvxcore] PCIConfigChange=3

※ [DVStorm-RT.stmcore]、[DVX-E1.dvxcore] がすでにファイルに記述されている場合は、「PCIConfigChange=3」のみ追加してください。

- 4 メモ帳を終了後、Windows を再起動する

オーバーレイ画面の映像が表示・更新されない

1 〈スタートメニュー〉をクリックし、〈ファイル名を指定して実行〉をクリックする

2 "canopus.ini" と入力し、[OK] をクリックする

メモ帳が起動します。

3 以下の内容をファイル末尾に追加し、上書き保存する

DVStorm-RT の場合	DVStorm XA の場合
[DVStorm-RT.stmcore.conf] OverlayMethod=1	[DVX-E1.dvxcore.conf] OverlayMethod=1

※ [DVStorm-RT.stmcore.conf]、[DVX-E1.dvxcore.conf] がすでにファイルに記述されている場合は、「OverlayMethod=1」のみ追加してください。

4 メモ帳を終了後、Windows を再起動する

A blank sheet of white paper with 20 horizontal dashed lines for writing. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There are small black squares in the corners of the page, likely for scanning or binding purposes.